

レッツの観光

2016年度から行っている「タイムトラベル100時間ツアー」をはじめ、レッツの活動において「観光」は新しい軸となっています。これは既存の観光ではなく、分断を超えていく新たな手法としての試みです。なぜレッツは観光に至ったのかを時系列でまとめ、これまでに行ってきた「タイムトラベル100時間ツアー」、新たに事業化していく「貸し出しだけし」、新しい「観光」とは何かを考える観光サミット等、レッツの観光の様々を展示します。



新拠点「(仮称)たけし文化センター連尺町」

浜松駅から800mのところに、日本財団さんの応援のもと、様々な人たちが集う文化発信拠点「(仮称)たけし文化センター連尺町」を10月にオープンします。重度の知的障害のある人の活動の場を中心市街地に設けることで、様々な人たちと多様な関係をつくっていきます。今回は、そんな新拠点を紹介します。

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



クリエイティブサポートレッツ観光プロモーションビデオ「光を、観る」

2017年度に、クリエイティブサポートレッツ観光プロモーションビデオ「光を、観る」を制作しました。監督に迎えたのは「マイノリティとセックスに関する2、3の事例」(07)や「INNERVISION」(13)など、境界線をゆるがす話題作を手掛けた佐々木誠氏。観光ツアー参加者が目の当たりにするアルス・ノヴァの日常が佐々木監督ならではの手触り感でスクリーンに映しこまれています。期間中は特設スペースで毎日上映します。大型スクリーンでぜひみなさんもレッツの観光を体験してください。



アルス・ノヴァ秘蔵動画

レッツの運営する障害福祉サービス事業所「アルス・ノヴァ」の現場で、その設立当初からスタッフが日々撮りためた映像を展示します。そこには誰かのこだわりやイタズラ、ふとした仕草や関係性、遊びなど、撮影者の心を動かした瞬間が収められています。何でも日常とも見えるそれらの映像は、誰かに届けることを思うより早く、「見つけた!」という歓声にも似た、撮らざるをえない気持ちに突き動かされて撮られたものです。
※東京都渋谷公園通りギャラリーによる展覧会「あら まほし Art, anything to access a world」の参加に際して制作された映像を上映します。

スタ☆タン!!

貴方の大切にしている音の表現、音とも言い切れぬ現象、森羅万象如何なる事も対象にしたオーディションイベント「スタ☆タン!!」障害福祉サービス事業所アルス・ノヴァから発信されるスーパーオルタナティブオーディションイベント「スタ☆タン!!」は、如何にして何故故に一体全体どうしてまた生誕してしまったのか?その背景と真実に迫る驚愕のドキュメント手作りボード展示!!プロデューサー佐藤啓太の障害福祉サービス事業所アルス・ノヴァ滞在七年半に渡る血反吐渦巻く涙腺崩壊必須の無脚色主観記録!!観てしまったものはガチモンの光だった... (●●●●●)!!?はぐわああっ!! ぜってえ見逃すぬあっ!!



3月3日(土) 17:00-20:00 観光PV上映会&トーク

レッツ観光局のオープニングイベントとして、クリエイティブサポートレッツ観光プロモーションビデオ「光を、観る」の上映会を行います。ゲストには監督、佐々木誠さんと、「しょうぶ学園」の日常を描いた映画「幸福は日々の中に。」のプロデューサーであり、佐々木誠監督とレッツを出会わせてくれた方でもある相澤久美さんをお招きしてトークイベントを行います。イベント後は軽食を用意しております。(※参加費500円)



佐々木誠 (映画監督)

'06年に初監督作品「Fragment」がロードショー公開され、国内外で3年以上のロングランに。その後、「マイノリティとセックスに関する2、3の事例」(07)、「INNERVISION」(13)、「マイノリティとセックスに関する、極私的恋愛映画」(15)が公開。



相澤久美 (建築家・編集者・プロデューサー)

97年より建築設計事務所を主宰しながら雑誌・書籍の編集、オルタナティブスペース等の企画制作に携わる。現在は主に映画製作、災害専門の一般紙の発行、被災地の中間支援、東北のロングトレイルの仕組みづくり等に携わる。

3月9日(金) 18:30-20:30 秘蔵動画上映会&トーク

ゲスト: アサダワタル (文化活動家・アーティスト)



「アルス・ノヴァ秘蔵動画」を上映しつつ、アサダワタルさんとレッツのスタッフたちが、アルス・ノヴァの「しえん(支援)」と「表現未満」をテーマに、まったりガツガツ語り合います。

タイムトラベル100時間ツアー

会期中に行われる「観光サミット」、シンポジウム「地域とアート」の開催に合わせて、タイムトラベル100時間ツアーを2回開催します。今回のテーマである「観光」を体験し、実感できる機会です。それぞれのシンポジウムに興味ある方も、ツアーだけご希望の方も、まずはお申し込みください。詳細・お申込みは、web: <http://100htour.net> 電話: 053-440-3176 まで。

- ① 3月10日(土)-11日(日) タイムトラベル100時間ツアー 観光サミット特別編
- ② 3月16日(金)-17日(土) タイムトラベル100時間ツアー 地域とアートシンポ特別編



まちあるきツアー

浜松のまちの人が、そこに暮らしたり、関わったりする中で感じたこと、ハッとエピソードなどを聞きながら、まちを歩きます。まちの人が「光を観た」ところを、一緒に観に行くツアーです。
※要申込 ※参加無料ですが、飲食代等、別途実費が発生する場合があります。
※いずれのツアーも、集合場所は展覧会会場のギャラリー遥懸夢です。

① my favorite places (私の好きな場所)

【ガイド】吉林和穂(浜松まちなかにぎわい協議会事務局)
【日時】3月4日(日) 14:00-
まちなかのプロフェッショナルと言えばこの方!吉林さんがまちづくりを通して知った興味深い場所・人を紹介していただきます。

② お願いしなければ見ることができないまちなかの光を見て歩くツアー

【ガイド】磯村克郎(静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授)
【日時】3月4日(日) 15:00-18:00 【定員】10名
普段はなかなか入れないまちなかの場所をみんなで巡ります。昇れないところ、昔あったフロア、入れないはずの空間、見えたはずの景色など、迎えてくださるまちの方々と交流しながらもう一つの光景を体験しましょう。

③ 人にみる ゆりの木通りという場

【ガイド】鈴木基生(田町パークビル株式会社代表取締役)
【日時】3月5日(月) 13:30-15:30
万年橋パークビルを運営する鈴木基生さん。ビルの位置するゆりの木通り商店街の人々との出会い付き合っていく中で、ハッとしたこと、嬉しかったこと...思い出を聞きながらまちを歩き、商店街の人を通してゆりの木通りを見ます。

④ 「ボクとマチの関わり合い」を巡るツアー

【ガイド】松島弘幸(たたずみコーヒー)
【日時】3月8日(木) 13:30-
中心市街地のことを浜松市民は「マチ」と呼びます。そんなマチを活性化すべく様々な活動をする松島さんの、幼少期~学生時代のマチの思い出から、マチを活性化するために考え、実践した取り組みや活動と一緒に巡り、観るツアーです。

⑤ LaLaカレーといくスパイーツツアー

【ガイド】廣畑秀明(LaLaカレー)
【日時】3月12日(月) 17:00-19:00
(生活にスパイスを)がテーマのLaLaカレーは、2011年に起業、2016年浜松の街中・着町に店舗を構えました。店主の廣畑さん自身が人生に刺激を得た様々なスポットを、参加者とともに巡ります。

⑥ 画塾に行くまでの間に何してたっけ俺は?ツアー

【ガイド】佐藤啓太(クリエイティブサポートレッツ スタッフ)
【日時】3月14日(水) 13:30-15:30
高校時代、画塾に行くまでの間に寄り道してた店を思い出しながらフラフラ散歩します。佐藤のくどい思い出も聞けるかもです。

※お問合せ・お申込みは メール: lets-arsnova@nifty.com / 電話: 053-440-3176 まで!

レッツ観光局

2018年3月3日(土)-17日(土) 11:00-17:00

※期間中無休

はるかむ
ギャラリー遥懸夢
(静岡県浜松市中区大工町 303-15)

入館無料

主催: 認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ
共催: 静岡県文化プログラム推進委員会
後援: 静岡新聞社・静岡放送・K-mix・静岡朝日テレビ・(公財)浜松市文化振興財団

これがアルス・ノヴァ観光だ!!



「表現未満、」とは

誰かが熱心に取り組んでいること
 それが、その人の生活や生き方に根ざしていること
 特別な人の特別な行為ではなく、個人の生活文化であること
 それを「表現未満」と命名します。
 認定NPO法人クリエイティブサポートレッツは、2000年の設立より、様々な人たちがともに生きる社会（ソーシャルインクルージョン）の実現を目指してきました。
 この、「表現未満」に光をあてることによって、他者の価値観や生き方を知り、理解し、ともに生きる社会について積極的に動き始める。そんな「表現未満」のムーブメントを広げていきたいと考えています。

昨年度は、「表現未満」実験室を浜松市の中心市街地で40日間実験してみました。
 その結果、2018年10月に、重度の障害者を核とした新施設「仮称 たけし文化センター連尺町」をオープンします。

一方で、レッツは2016年から障害福祉施設アルス・ノヴァの日常の中にある「表現未満」を、多くの人たちに「観光」していただく事業、「タイムトラベル100時間ツアー」を行ってきました。

観光には、「光を、観に行く」という意味があります。これは何か与えられたものを観に行くのではなく、みずから光を探しに行く旅です。それは予定調和でも、既存の美意識や価値観に彩られたものではなく、ざわざわしたり、もやもやしたり、時には危険であったり、恐ろしいものであるかもしれません。
 そんな「観光」が、自分の生き方を自分で作って行かなければいけない時代の中で必要なのではないかと考えています。

2018年度は、こうした「観光」を皆さまで考える場を作りたいと考えています。
 「観光とはなんだろう」、「なぜいま観光が必要なのか」。
 そうした議論を2018年3月11日の震災の日、「第1回観光サミット」で行います。
 サミット開催に合わせて、展覧会「レッツ観光局」を、2週間行います。

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ 理事長 久保田翠

スケジュール

月	火	水	木	金	土	日
					2018/3/3 観光局 OPEN 17:00-20:00 観光 PV「光を、観る」 上映会&トーク	4 14:00- まちあるき①吉林さん 15:00-18:00 まちあるき②磯村さん
5 13:30-15:30 まちあるき③鈴木さん	6	7	8 13:30- まちあるき④松島さん	9 18:30-20:30 秘蔵動画上映会&トーク	10 19:00-21:00 かたりのヴァ※ 「帰る場所」 ← タイムトラベル100時間ツアー vol.13 →	11 13:30-18:00 第1回観光サミット 「光を観る ～観光のすがた～」
12 17:00-19:00 まちあるき⑤廣畑さん	13 10:30-12:30 みどのヴァ※ 「私の生き方」	14 13:30-15:30 まちあるき⑥佐藤さん	15	16	17 観光局 おしまい 11:00-17:30 シンポジウム「地域とアート ～草の根アートプロジェクトからの考察～」 ← タイムトラベル100時間ツアー vol.14 →	

※かたりのヴァはレッツ流哲学カフェ。回ごとに一つのテーマを決めて、集まった人たちが話し・聞く場です。みどのヴァではレッツ代表・久保田がファシリテーターを務めます。

同時開催 シンポジウム

第1回観光サミット
「光を観る～観光のすがた～」
 3月11日(日) 13:30- 木下恵介記念館

レッツが考える新しい観光とは何か? 「観光客の哲学」の著者、東浩紀さんをはじめ、様々な視点から観光にアプローチする皆様をゲストに議論を行います。
 ゲスト: 東浩紀、川延安直、ナガオカケンメイ/司会: 陸奥賢

地域とアート

一草の根アートプロジェクトからの考察

3月17日(土) 11:00-17:30
 ここ・い〜ら ギャラリー2(ザザシティ浜松中央館5階)
 日本全国の地域アートプロジェクトの主催者が15団体集まり、それぞれの事例発表と、地域の草の根アートの課題や、アーツカウンシル等の中間支援のあり方について議論を行います。
 主催: 浜松市 企画・クリエイティブサポートレッツ 協力: 静岡県 NPO法人アートNPOリンク アート・アンド・ネットワーク

会場

はるかむ
ギャラリー遥懸夢(旧由美画廊)
 (静岡県浜松市中区大工町303-15)
 浜松駅より徒歩約10-15分



お問合せ

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ

〒432-8061 静岡県浜松市西区入野町 8923 - 4
 電話: 053-440-3176 / ファックス: 053-440-3175
 メール: lets-arsnova@nifty.com
 ホームページ: <http://cslets.net/>
 Facebook:
<https://www.facebook.com/takebunn/> (たけし文化センター)
<https://www.facebook.com/letsarsnova/> (アルス・ノヴァ)

【レッツ観光局】 <http://100htour.net>

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツについて

社会の「あたりまえ」なんておかないし、「あるがまま」でいることを貫き通す、
 重度の知的障害者「たけし」との出逢いが「クリエイティブサポートレッツ」の始まりです。
 彼に「あたりまえ」を少しやめたら、障害・国籍・性差・年齢などのちがいを越えた、
 「あなた」と「わたし」の関係が見えてきました。
 できるだけ多くの人が「あるがまま」について、お互いがちょっと刺激しあいながら、心地よくセッションしていく場。
 レッツは、社会にそんな場所が増えていくことを目指しています。



静岡県文化プログラム

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、オリンピック憲章で開催が定められた「文化プログラム」が、日本全国で展開されます。静岡県文化プログラム推進委員会は、文化・芸術振興や文化・芸術による地域・社会課題対応を目指して、様々な団体等との協働による取組を進めています。